

令和4年度 桐生市立西小学校 学校経営構想図

<p>(1) 学校教育目標</p>	<p>◎基本目標 自ら考え行動し、心豊かにたくましく生きる子供の育成 ○目指す学校像 ① 児童が、たのしく過ごし、夢を描ける学校 ② 保護者が、親しみや安心感を感じられる学校 ③ 地域から、愛され、信頼される学校 ④ 教職員が、職務にやりがいを感じられる学校 ○目指す児童像 かしこく(知)、やさしく(徳)、たくましく(体)</p>
<p>(2) 学校方針</p>	<p>「みんな笑顔」の学校を目指し、「学校力はチーム力」の意識のもと、3つのワーク「フットワーク・ネットワーク・チームワーク」と3つの配慮「目配り・気配り・心配り」を合言葉に、全教職員が一丸となって教育活動に当たる。また、「師弟同行・率先垂範」をモットーに何事にも“Challenge to Smile [チャレンジトゥスマイル]”で取り組み、保護者や地域とともに歩む、活力ある学校づくりを推進する (1) 学校運営組織の充実・改善 (2) 学力の向上 (3) 豊かな心の育成 (4) 体力の向上と健康安全教育の充実 (5) ふるさと西・郷土桐生を愛する子供の育成</p>
<p>(3) 本年度の努力点</p>	<p><b>“Challenge to Smile”</b></p> <p>1. 組織で動き組織で取り組む学校運営 ・些細なことでも報告・連絡・相談 ・情報や出来事を多面的・多角的にとらえ、迅速に対応 ・教師としての能力の向上と資質の涵養(教師力は授業力=学ぶ教師集団) ・積極的な授業公開で授業力を向上 ・心身共に健康で職務に精励できる職場環境づくりの推進</p> <p>2. 自ら学ぶ意欲を持つ児童の育成 ・基礎基本の徹底と言語活動の充実 ・個に応じたきめ細かな指導の工夫や授業の改善・充実 ・家庭での学習習慣や読書習慣の形成・生涯にわたって読書を楽しむことができる児童の育成</p> <p>3. 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成 ・道徳の授業を要とし、教育活動全体を通じて実践 ・あいさつの励行と整理・整頓・清掃の徹底(=人権尊重の基礎・基本) ・自己有用感を育む教育活動の充実</p> <p>4. 運動の楽しさを知り、健康安全に気をつけられる児童の育成 ・体育の授業及び体育的行事の改善・充実 ・健康や安全は自分で守る意識や態度及び能力の育成 ・食育の推進 ・安心安全な環境づくり</p> <p>5. 開かれた学校(地域)に開かれた教育課程 ・地域の人的・物的資源の積極的な活用 ・郷土理解の推進、「桐生を好きな子供」の育成 ・地域の行事や催し物への参加や協力 ・近隣の幼稚園・小学校・中学校・高校・大学との連携の充実</p> <p><b>指導の重点《たくましく生きる力をはぐくむ ～自ら学び、自ら考える力を～》</b></p> <p>1 学校運営の重点 「チーム学校(西小)」の実現 ① 時宜に応じて即座に対応できる、しなやかな校務分掌組織を構築する ② 外部機関や専門機関との連携を積極的に推進する【学校が自前でやり繰りできる世の中ではない】 ③ 教職員各自が力量を高め、社会から信頼される教職員集団づくりを進める ④ 勤務時間等の労働安全衛生管理への意識をもち、業務の改善や効率化を進め、働きやすい職場づくりに取り組む</p> <p>2 かしこく 【知】 ◇教科等指導の重点 「確かな学力」の育成 ① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善・授業改革を推進する ② 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、活用力を育むための指導(ドリル学習・図書の活用・家庭学習等)の徹底を図る ③ 思考力・判断力・表現力等を育成する ④ 学ぶことへの興味・関心を高め、図書館等を活用し、自力で調べ、考え、解決する児童を育成する。 ⑤ 互いに認め合い支え合い学び合える集団づくりと授業中の積極的な生徒指導を推進する</p> <p>3 やさしく 【徳】 ◇人権教育の重点 「やさしさ ほほえみ おもいやり」をキーワードに人権感覚を磨き、誰もが人として尊重され、大切にされる学校づくりを推進する</p> <p>(1) 道徳教育 「豊かな心」の育成 ① 道徳的価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての学習を深める道徳科の授業を改善 充実させる ② 道徳科を要としながら、あらゆる機会をとらえて道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導支援を行う ③ 郷土愛・環境保全・生命尊重・規範意識等を育むための体験的活動や集団活動に積極的に取り組む</p> <p>(2) 生徒指導 「いじめゼロ宣言」の実現 ① 児童の個性の伸張を図りながら、一人ひとりの自己実現を支援し、望ましい生活行動の実践化を図る ② 児童相互、教師と児童の人間的なふれあいを基盤とし、時・場所・状況に応じた個別指導・集団指導の充実にも努め、児童に充実感や自己存在感・自己有用感を育む ③ 全教職員の共通理解を図り、物事の善悪や道理等について、毅然としたふれられない指導を行う</p> <p>(3) 特別支援教育 「みんなちがってみんないい」学校づくり ① 特別支援教育の観点から全児童をとらえ、全教職員が全学級で推進する ② 障害のある児童や学習上・生活上に困難を抱える児童への正しい理解をもとに自立と社会的自立に向けて、関係機関と連携を図り、組織的に指導を行う</p> <p>4 たくましく 【体】 ◇健康・安全教育の重点 「楽しく運動、健康づくり」の推進 ① 児童の発達段階に合わせ、運動量を十分確保した体育の授業の工夫改善を行う ② 遊びの中で体を動かし、運動の楽しさを味わわせ、習慣化を図る ③ 健康安全は自分で守り、体力を向上させるという意識、態度、能力を育てる ④ 学校給食の教育的効果を生かし、学校教育活動全体を通じて、望ましい食習慣を身に付ける ⑤ 安全点検の励行、危機管理体制の整備と安全教育の充実を図る</p> <p>5 地域の教育力の活用 「地域の子供は地域で育てる」総力体制の啓発 ① 教育課程に則り、計画的な地域教材や人材の活用を図る【学校本 ランティアの充実】 ② 地域を知り、地域に向き、世代を越えた地域の人の人と交流を大切にした教育課程の編成・実施に努める ③ 「桐生を好きな子供」、桐生を基盤として世界に羽ばたく子供を、地域が総力をあげて育てる意識を涵養する</p>
<p>(4) 本研年度計画の画</p>	<p>◎研修主題 『主体的・対話的で深い学びのできる児童の育成』 —はばブラを活用し、流れを意識した学習計画を通して—</p> <p>○研修内容 ① 県教委指定「学校図書館充実事業」に関わる研究の推進(令和2年度・3年度) ② 「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用し、各教科における対話的学びを取り入れた授業改善研修 ③ 児童が意欲的に利用する学校図書館作り</p>